

トップニュース

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要まであと78日

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」第7回全国門徒推進員のつどいが4月9日、本山・御影堂で開催される。

「人生観の大転換」をテーマに、精神科医の名越康文さんと山形大学教授・大喜僧侶が加わって鼎談を行

4月9日

門徒推進員のつどい

「有縁の方とご一緒に」

親会などが行われる予定。現在、参加者を募集中。

市内のホテルで懇親会を開催。翌10日は午前10時から慶讃法要に参拝する。募集人数は5000人程度。参加費は2000円。

申し込み締め切りは1月末



日野誕生院の整備工事完了

3月29日から営まれる本山の「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を前に、修復・整備が進められていた宗祖親鸞聖人誕生ゆかり地である日野誕生院（京都市伏見区）の工事が、このほど完了した（写真上）。



昨年末にご本尊をご遷仏

ご本尊とともに本願寺に仮安置されていた日野有範像も別室に移された。本願寺の飛地境内である日野誕生院の整備工事は、本山振興計画の一環として2021年11月に着手。別堂と書院は、立教開宗700年の記念法要を機縁として、法要の8年後の1931年に新たに建てられており、本格的な修復はそれ以来91年ぶり。別堂と回廊の屋根を全面葺き替えし、内陣をはじめとした本堂、金具・建具、漆喰などの劣化・破損箇所の修復、書院の改修、鐘樓の修復、寺務所の改築などを行った。また、慶讃法要期間中には、多数の参拝者が見込まれていることもあり、石畳の整備や、各所階段に手すりを設置するなどした。

日野誕生院での慶讃法要は5月20日に営まれる。

本山では初めて「新制 御本典作法」で恒例法要



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて新たに制定された「新制 御本典作法」が12月16日、御影堂での宗祖月忌法要で、本山では初めてつとめられた（写真）。正信偈の部分は、従来の旋律とは違う「和讃」。参拝した名古屋市長東区の小栗幸世さんは「小さい頃から正信偈に親しんでいるが、今日のおつとめは歌のような節で明るい印象を受けた」と話していた。

「新制 御本典作法」は1月16日までの御正忌報恩講中、11日と14日の日中法要（午前10時）でもつとめられる。

「新制 御本典作法」を学ぼう
堺別院 毎月の宗祖月忌でとる

堺別院（堺市堺区）は、3月から始まる親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を迎えるにあたり、法要をつとめる「新制 御本典作法」を学ぼうと、昨年9月から職員で勉強会を続けている。同別院は、9月から毎月15日の宗祖聖人月忌法要（午後1時30分）で「新制 御本典作法」をつとめることとし、法要の1週間前から毎日1時間ほどの練習を重ねる（写真）。12月15日の同別院報恩講法要大夜では、門徒や宗敬区域の僧侶とともに声高らかに「新制 御本典作法」をつとめ、聖人のご遺徳を偲んだ。邊春真義輪番は「法要への機運を高めるにはまず、私たち職員がこのおつとめ

表具師の技で鮮明に蘇る表装古典
寺宝継承の匠技
寺院用御影修復・在家用御本尊御洗濯・掛軸製造・襖・屏風・額・肖像画・日本画制作

西田松月堂
京都市下京区西本願寺前 TEL.075(371)9429 FAX.075(341)4609

薫口堂
KUNGYOKUDO
京都 香老舗 創業文禄三年（1594年）
薫玉堂
京都市下京区堀川通西本願寺前
TEL.075(371)0162

京ゆば **湯葉弥**
京・五条御前東 電話075-311-5788
http://www.yubaya.co.jp

修理などについても
お問い合わせ下さい

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

創業元禄初年 **大笹屋**
京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6
TEL 075-751-6889
FAX 075-751-7304
E-mail:m@ozasaya.com

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8385
京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9
TEL 075-8411-7666
FAX 075-8411-7666

DAIJO 1月号 発売中！
毎月1日発行 / 85判 / 88ページ
年間購読料 4,500円(税・送料込)
1冊 375円(税・送料込)

好 評 連 載
●DAIJO法話 大田 利生
●華道記 藤井 真
●親鸞聖人いまさすは 水之江 陽子
●親鸞聖人からの手紙 佐々木 義英
●マンガお釈迦物語 岡橋 徹栄×ノ瀬 かおる
●フォーカス仏教ライフ その他連載コーナー多数！

本願寺出版社
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下（西本願寺）
https://hongwanji-shuppan.com/ 0120-464-583 075-341-7753

本願寺新報

hongwanji journal

1月10日(火曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下 浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

茶道 敷内家燕庵

京都市下京区西洞院正面下

http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

私たちのちかい
、自分の殻に閉じこもることなく
、穏やかな顔と優しい言葉大切にします
、微笑み語りかける仏さまのよう
、おさまり、いかり、おろかさに流されず
、しなやかな心と振る舞いを心がけます
、心安らかな仏さまのよう
、自分だけを大事にすることなく
、人と喜びや悲しみを分かち合います
、慈悲に満ちあふれた仏さまのよう
、日々を精一杯つとめます
、人びとの救いに尽くす仏さまのよう



昨秋に島根県出雲市の真宗寺住職の堀西雅亮さんを取材した。堀西さんは地域の人たちと協力し合い、地元で働く外国人労働者の子どもたちが、安心して楽しく暮らしていけるようにと、ありのままの自分を出せる居場所づくりに取り組んでいる。さまざまな背景を持ち、異国の地で生活する子どもたち。堀西さんたちは、教室を開き、彼らの悩みやしんどさに寄り添い続けている。

▼堀西さんから「ソーシャル・インクルージョン」、社会的に全体を包みこむ「社会的包摂」という言葉を教わった。社会を構成するすべての人は多様な属性を持っている。性別や人種、国籍、出身地や社会的地位、障害の有無など、その属性によって排除されることなく、誰もが分け隔てられることなく、地域で当たり前前に生活できる社会になってほしいという「社会的包摂」の願いを持って活動されている。

▼堀西さんはこの「社会的包摂」を、親鸞聖人の「御同朋」の精神に通底していると語る。そして、その究極は、すべてを見捨てずにおさめとってくださる阿弥陀さまの「攝取不捨」のはたらきであると味わわれている。

▼大正12(1923)年に立教開宗700年を記念して作られた「真宗宗歌」。その3番に「海の内外のへだてなく」と出てくる。「真宗宗歌」誕生から100年が経ち、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を2カ月半後に控えた今、「海の内外のへだてなく」活動していく堀西さんに学ぶべきことは多い。



福岡支局 〒812-0002 福岡市博多区空港前3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話 宗務所 075(371)5181 / 大谷本願 075(531)4171

宗派公式Webサイト https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ https://www.hongwanji.kyoto